

平成19年11月20日

# 砺波医師会誌

## 杏和だより

第189号

### ◇◇◇ 目 次 ◇◇◇

〔時 評〕・砺波医療圏急患センター発足にあたって .....	山本 郁夫	2
〔活動報告〕 .....		3
〔弔 辞〕・今堀淳生先生を偲んでへ .....	吉田 武雄	6
・中島慎一先生を偲んで .....	三崎 俊光	7
〔花 暦〕・女薙刀（オンナナギナタ） .....	桐澤しょう二	8
〔散居村〕・コンプライアンス・市町村合併・医師会 .....	柴田 道也	9
・君はグルメシアン、ダラメシアン、ダルメシアン ...	杉下 尚康	10
・クラブ依存症患者の独白 .....	住田 亮	11
・杏和会 .....	千保 延江	12
・出 会 い .....	高木 泰孝	13
・百 才 .....	高田外喜雄	14
・私と昆虫 .....	高橋 暢人	15
・キカン子供への決めゼリフ .....	高橋三千代	16
〔新入会員紹介〕 .....	井上皮フ科医院 井上久美子	17
〔婦人部だより〕 .....	藤井 浩子	18
〔編集後記〕 .....	家接 健一	19

発行所 砺波市幸町6番4号

砺波医師会

発行人 砺波医師会長 高橋 卓 朗

## 砺波医療圏急患センター発足にあたって

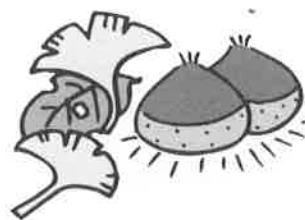
砺波医師会副会長

山 本 郁 夫

平成19年4月1日より砺波医療圏急患センターは、内科系を新たに加え再出発しました。旧福野町にあって約30年続いた急患センターが平成18年3月末をもって休止となりましたが、時間外診療空白化の事態が憂慮され、その後直ぐに新たな急患センター構想の論議が立ち上がりました。以前の福野急患センターの不都合さの反省・検討を踏まえ、近年の地域医療の中での、休日、時間外診療の役割、二次救急の中核となる病院との連携等、十分な論議を重ねた上で発足に至った次第です。幸い、これより約2年前に発足している小児急患センターは良い成果をあげており、良い土台の上で運営することになり、より良くニーズにこたえられるものと思われます。

折りしも、厚生労働省は「医療政策の課題」なるものを発表し、その中で、地域での開業医の休日・時間外の診療体制を求める、という方向性を提唱しています。このこととは別に当地区での地域医療の考え方で時間外医療を発足させたことに自負できるものがあると思います。

当センターは医療圏としての事業であり、当医療圏は、面積は広いが、社会的に狭い地域、少ない人口、このような地域環境の中、医療圏全体で地域医療を考え、その上で急患センター運営に臨むことが具体的なやり方や人的にも今後より良い成果が期待できるものと考えています。担当されるスタッフの方々には多大なご苦勞をおかけすることになりますが、今後もご尽力をお願いするしだいです。



## 活動報告

(平成19年5月～平成19年10月まで)

### 平成19年5月

- 10日 平成19年度基本健康診査等打合せ会 (理事のみ)
- 14日 定例理事会
- 21日 第20回砺波胸部疾患検討会  
救急医療委員会 (県医)
- 22日 学術講演会 「肝炎検診の重要性－肝硬変・肝癌の予防－」  
富山県立中央病院医療局長・内科部長 野田 八嗣
- 24日 平成19年度基本健康診査等打合せ会 (全体)
- 29日 介護保険委員会 (県医)

### 平成19年6月

- 1日 砺波地区医療推進対策協議会
- 4日 県・郡市医師会協議会
- 5日 医師会のあり方委員会
- 11日 定例理事会
- 13日 准看護学院運営理事会
- 17日 市民公開講座 『増加するアレルギー：予防と治療について』  
「最新の気管支喘息の治療・管理」  
富山大学医学部第一内科講師 丸山 宗治  
「小児喘息の危険因子とその予防について」  
市立砺波総合病院小児科部長 小西 道雄  
「鼻アレルギー」 さかした医院耳鼻咽喉科 坂下 英雄  
「追加発言：スギ花粉飛散状況とスギ花粉症患者について」  
富山県医師会花粉症対策委員会委員長 山下 泉
- 18日 第21回砺波胸部疾患検討会
- 19日 第1回砺波地域産業保健センター小委員会
- 20日 監査会
- 25日 医師連盟執行委員会

- 26日 学術講演会 「脳血管内治療－最近のトピックス－」  
富山大学附属病院脳神経外科准教授 桑山 直也
- 28日 県医定例代議員会・県医定例総会  
産業保健研修会  
「リスクアセスメントの進め方」  
富山産業保健推進センター相談員 山崎 勝  
「過重労働対策と医師の面接指導」  
富山産業保健推進センター相談員 稲寺 秀邦

### 平成19年7月

- 3日 平成19年度臨時総会
- 9日 定例理事会
- 23日 第1回特定健診・特定保健指導委員会  
第22回砺波胸部疾患検討会
- 24日 県医師信用組合理事会  
産業保健小委員会（県医）  
市健康づくり推進協議会

### 平成19年8月

- 1日 砺波地域産業保健センター第1回運営協議会  
小児・周産期医療部会（県医）
- 6日 乳幼児・学校保健委員会（県医）
- 13日 定例理事会
- 20日 県・郡市医師会協議会
- 30日 県医師連盟執行委員会
- 31日 四産保事務連絡会

### 平成19年9月

- 2日 医療救護訓練

- 3日 第2回特定健診・特定保健指導委員会
- 5日 医療計画策定にかかる砺波圏域連携会議
- 6日 工場見学（㈱日平トヤマ 福野工場）
- 10日 定例理事会
- 19日 平成20年度健康診査事業等の打ち合せ会（理事のみ）
- 25日 学術講演会 「前立腺肥大症の診断と治療」  
金沢大学大学院医学研究科 集学的治療学准教授 北川 育秀
- 28日 県医師会 社会保険講習会

### 平成19年10月

- 1日 第3回特定健診・特定保健指導委員会
- 4日 准看護学院戴帽式
- 9日 理事会
- 10日 産業保健研修会 「職場巡視事例検討会」  
富山産業保健推進センター相談員 山崎 勝
- 12日 砺波准看護学院運営理事会
- 15日 第23回砺波胸部疾患検討会  
介護保険委員会（県医）
- 19日 広報委員会
- 23日 学術講演会 「気管支喘息～その病態と診断、治療～」  
富山大学附属病院 第一内科学 林 龍二
- 25日 産業保健研修会  
「特定健診・特定保健指導の実際—中小企業での試みと問題点—」  
（財）石川県予防医学協会健康管理センター所長 田畑 正司
- 29日 小矢部商工会・小矢部市医師会・富山産業保健推進センター・砺波地域  
産業保健センター健康講話と事業説明会
- 30日 救急医療委員会（県医）

## 今堀淳生先生を偲んで

寿康堂吉田医院

吉田 武 雄

先生は大正6年3月31日生まれで、大阪高等医学専門学校を卒業後、神戸の川崎病院で内科を研修されました。昭和15年より6年余りの軍医の後、戦後油田診療所を経て昭和22年6月砺波市中村で開業されました。以後、地域医療の発展に最近まで誠意を尽くされました。

医師会活動は砺波医師会理事、裁定委員、富山県医師会予備代議員を歴任され活躍されました。砺波医師会は、一昨年までは砺波市・庄川町・井波町・福野町・福光町・城端町・利賀村・平村と広域で、行政単位が異なっていました。その中で砺波市福祉課と会員の情報連絡と砺波市在住の会員相互の親睦を図るための会の発足を提案され、杏和会と銘々され現在まで続いています。「杏」は中国の古典で「李下に冠を正さず」より引用し、「和」は聖徳太子の「和を以って貴しとなす」を引用されたと伺っています。

一方、先生は多趣味な方で夏は庄川で鮎釣を楽しまれ、囲碁・麻雀も楽しられました。医師会の旅行先でお手合わせを願い、一敗地にまみれた事を懐かしく思い出しております。また韓国民芸にも造詣が深く、韓国民芸を通じた多くの方々との交流も楽しんでおられたと聞き及んでいます。

今年に入り体調を崩しておられると聞き心配しておりましたが、平成19年5月28日にご逝去されました。享年90才。大先輩が現在に続く偉業を発案・実行されたことに尊敬と感謝を申しあげ、謹んで哀悼の意を表し、合掌して摘筆致します。

(吉田先生のご了解を得て、医報とやま第1437号より転載させていただきました)

## 中島慎一先生を偲んで

市立砺波総合病院泌尿器科

三崎俊光

平成15年8月7日それは何の前ぶれもなく、突然に起こってきました。朝8時ごろ足が麻痺して動けなくなったとの中島先生からの電話ではじまりました。職員数人で病院へ連れてきましたが、開口一番「外来の診療が終わったら整形で診てもらおう」と診察室の椅子に座ろうとされました。自分自身におきた非常事態にもかかわらず、職務を優先させた彼の態度に、まさにプロ根性を見せられた思いがいたしました。とは言っても身体のはまったく効かず、すぐに整形外科受診し、同日夜間よりの緊急手術を受けられました。

その後、数年間の寛解期間はあったものの長期間の過酷な闘病生活にじっと耐えられ、東京での治療に期待をされ、再び元気になって砺波での医療活動を継続したいという熱い思いが叶わず、さぞかし無念であったろうと思います。

中島先生とは彼が金沢大学医学部泌尿器科教室へ入局して以来約30年のつきあいでした。昭和63年3月小生の砺波総合病院への赴任が決まった時に一緒に仕事をしたいと訪ねてくれました。大学病院前の小さな喫茶店で将来の夢を熱く語り合ったことが懐かしく思い出されます。以来砺波総合病院での16年間わがままな小生のもとで黙々と確実に仕事をこなされ、患者さんや職員にも評判の良い医師として泌尿器科の業績に貢献していただきました。趣味のドライブ、山歩き、独り静かに飲む酒などは小生の下での勤務のストレス解消の場でもあったのでしょうか？ただ奥さんや子供さんのことについてはいつも楽しそうに話す家族思いのやさしい先生でした。

医療の現場が混とんとしてきた今こそ先生のような心穏やかで優しい医療人が必要とされており、まことに悲しく残念なことと思っております。

中島先生ご苦労様でした。どうか安らかにお休みください。

## 花 暦

女薙刀（オンナナギナタ） …………… 桐澤 しょう二

### 女 薙 刀

春暁を転げ落らたる女薙刀（能登半島地震）  
産科閉じ春眠といふ極楽に  
一期とも一会ともチューリップフェア  
遠伝子に洒落心ありチューリップ  
「夏は来ぬ」唱歌は遠し鏡検終ゆ



### 打 腱 槌

梅雨長し刀自と言はれし身だしなみ  
遠郭公秘薬と伝へ四逆散  
梅雨晴れ間GOT値老婆訊く  
梅雨長し一徹叩く打腱槌  
古にけり「産婦大系」梅雨の書架



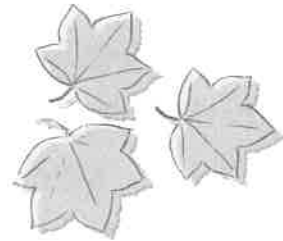
### サン グ ラ ス

かき氷大正の齢かみしめる  
散居村どこからも吹く青田風  
ごらゃ混ぜに活けて秋草人老いし  
サングラス魑魅魍魎が街を行く  
久岡は「風のおわら」で逢いしこと



### 含 歎 の 花

灸花むかしや祖母の頭痛膏  
花は葉に金沢言葉男めく  
音痴てふ遠伝は女系含歎の花  
風五月佐渡かと紛ふ能登訛り  
夏の雨補聴器痒し医を習ふ



### 枇 杷 の 実

香水や六階病棟立山見ゆ  
エレベータしづかに梅雨を妻の病む  
枇杷熟れて一人の厨広さかな  
帰宅許可梅雨のワイパーゆるく廻し  
夏帽にお洒落も少し老人科





## コンプライアンス・市町村合併・医師会

柴田医院

柴田 道也

- この頃、やたらとカタカナ語の氾濫が目立つようになった。新聞など括弧付きで意味が書いてある場合はよいが、でないで一々カタカナ語辞典のお世話になることが屢である。表題のコンプライアンス (compliance) には様々な意味があるが、最近はおっぱら「法令遵守」の意味で使われることが多い。

私たちは憲法や膨大な法律等をはじめとして、身近なところでは自治体の条例、医師会の定款、町内会の規約、果ては趣味の団体等々に至るまで様々な取決めごとがあり、一方では個人の権利を守り、また一方では個人の行為を規制し運営の規範としている。

最近、書店で『「法令遵守」が日本を滅ぼす』\* という文庫本を見つけ、奇異な表題に興味があり読んでみた。問題は国の「経済政策に関する法律」が標的になっているように思われる。明治時代に定められた法律がもはや現状に適応しなくなり、例えば入札での談合問題（独占禁止法違反）で検察が動いたりするのは、法令遵守の弊害だと著者はいう。

ところで3年前、国の財政再建と地方分権をお題目に、飴と鞭との政策で行われた市町村合併がある。強制的ではなかったが、ここでも地方自治体行政の様々な対応が見られた。

- 富山県を見ると国の方針に反発する新川地区に合併しない市町村がかなり見られた。しかし砺波地区では、お上のおっしゃる指導（法令）に従順なのか、合併特例債を有利とみたのか、しかも砺波広域圏というものがあいながら、紆余曲折を経て行政主導で、説明責任不足のまま、砺波市と南砺市に分裂合併したことは極めて残念な結末であった。

約20年前、国の政策で全国的に各県を医療圏に分け、病床数を制限したことがある。富山県は4つの医療圏に定められた。それぞれに保健医療計画が策定されていた。砺波医療圏に設置された「地域医療対策協議会」は、今も開催されてはいるようだが、詳細は会員に説明されてはいないし、会員の理解も十分ではなかったように思われる。

○ 10の市町村で構成される広域行政が、自治体の2市に合併・分割されたことによって、市立砺波総合病院から当時の福野厚生病院へ派遣されていた院長が直ちに引き上げられた。その後、砺波広域圏開設の急患センターが砺波市に移設されたが、南砺市医師会員内科医の参加はない。事ここに至った市町村長間の確執は推察するしかない。

更に波紋は遂に砺波医師会にまで及んだ経緯は、今更会員の皆様方に説明するまでもない。医師会分裂の理由、経過に納得できず、砺波医師会に愛着をもつ私は、遂に退会しないまま残ることになった。

南砺市医師会最後の入会勧告、平成18年4月1日付「南砺市医師会 設立趣意書」の最後の2行に書かれた言葉「将来は、砺波医師会、小矢部市医師会と共に、砺波医療圏医師会を結成する計画があることを付記する」が真意であることを願い、一日も早く実現することを期待するのみである。

「三題噺」のつもりで書いてはみたが、本職の落語家のようにうまく話題が繋がったかは心許ない。「では、おあとがよろしいようで」。

\* 郷原信夫著 『「法令遵守」が日本を滅ぼす』

新潮新書（著者は元長崎地検検事を経て、桐蔭横浜大学法科大学院教授）

## 君はグルメシアン、ダラメシアン、ダルメシアン

宏仁堂杉下医院

杉 下 尚 康

5年前、肥満解消のウォーキングを始めようと思ったが自信がない。ちょうどその頃NHK-B Sで犬の番組を放送していてダルメシアンは物覚えも良く性格温厚で家庭犬に向いているとのこと。そうだ、ダイエット犬として散歩のお供をさせよう。インターネットでいろいろ調べた結果、沖縄のブリーダーから買い求めた。

小松空港貨物ヤードへ引き取りにいくと「活犬」の札をつけた小さなケージの中でブルブル震えた「君」がいました。このとき僅か3キロにも満たなかった君は、今や26キロの大型犬。御主人様同様ワイン、ビール、チーズに目がなく、何よりもパンが大好き。いび

きをかいて寝ていてもサンドイッチを食べているといつの間にか背後で「おりこうすわり」そのくせ主食の餌（ご飯）の選り好みは激しくいったい何度変えて今のご飯になったことか。ご飯も手のひらから食べるのが大好きで自分で食べるときは完食せず、わざと残し前足で御主人様の太腿をツンツン、そして潤んだ目で見つめるという必殺技を繰り返す。生まれてこのかた、開いた傘、自転車、懐中電灯の光が苦手で、尻尾を垂らして逃げようとする。自分に向かってくる猫や小さな犬も苦手で、ピョンピョン飛び跳ねながら走り回り、カラスにも馬鹿にされる始末。本当に君は「だら」なやつぢやなあ。でもかわいいよ、レオ君。



## クラブ依存症患者の独白

住田小児科医院

住 田 亮

「ゴルフは物理だ！」というキャッチコピーをゴルフ雑誌の広告欄でごらんになった方もいらっしゃると思います。言うまでもなくクラブの宣伝なのですが、このコピー、まことゴルファー心理をついた名作だなどつくづく感じているのは私だけでしょうか？ 確かにゴルフは単純に言うと「ボールに適切な衝撃力を与えて目的の位置に移動する」スポーツですから、字面だけから考えると上記のコピーは100%正しい訳です。ボールに力を伝える道具が大事だよ、だから新しい道具を買いなさいという囁きですね。そしてなにやら科学の匂いもするので、「ひょっとしたらショットが悪いのは物理的に間違ったクラブのせいかも・・・」と責任転嫁傾向の強いゴルファー達の深層意識を効果的に揺さぶるわけです。

一方これと対極にあるのが「ゴルフは道具じゃない」といういささか使い古された感もあるフレーズです。己がきちんとしたスイングをすればちゃんとボールは飛んでいくという体育会系・禁欲的な格言で、クラブメーカーが忌み嫌う言葉でもあります。

本来は後者の格言が正しいのでしょうか。しかし達観できない私はつついスコアの責め

を己ではなく道具（物理学的に間違っているかも知れない）に求めてしまうのです。不本意なラウンドが続くと我慢しきれずにゴルフショップに走って、メーカーの思うつぼと判りながらも「今度こそ曲がらないかも・飛ぶかも」とクラブを握りしめて出てくること数知れず。そしてその都度「期待が大きいほど失望も大きい」という真理を再認識することになり、「道具ではない」方の格言にしばらくは帰依して練習に重きを置いた修行の日々を送るわけです。しかしこのまっとうでストイックな日々はさほど長くは続きません。しばらくすると「ひょっとしたらロフトが、シャフトが・・・」と懲りもせずに思い始め、結局同じパターンの繰り返し。

最近では自分で自分に「これは向上心があるからだ」と言い聞かせて納得させるという高度な心理的技術まで身につけ、クラブ依存症はその重症度をより高めるばかり。いつの日か「ゴルフは道具じゃないよー」とさらっと言える時が来ると信じつつ、クラブ依存症患者は今日も人目を忍んでショップへの道をひた走るのです。



## 杏 和 会

千保医院

千 保 延 江

若く開業し入会した「杏和会」は、同じ年代の先生方が多く、また女医さん方もおられ、なんとなく気楽で御相談も出来る会で、長年親身に御助言いただける会でした。年とともに親しくしていただいた先生方が、ポツポツと惜しまれながら御他界になり、とても淋しい思いが致します。世間の常識に、ともすれば疎い私達医師にとって、いろいろな御経験から貴重な御意見をいただける医師の親睦会は大切な会合だと思います。しかし私自身、視力・聴力・体力ともに衰え、殊にもともと良くなかった脳の方も一段と老化し、ここ数年会合にも欠席を続け、お世話下さる幹事の先生方にも申し訳なく思っています。どうぞ若い先生方どんどん御入会の上、これからの厳しい環境に手を取り合って対処し、益々の御発展を祈念して居ります。

# 出 会 い

市立砺波総合病院整形外科

高 木 泰 孝

昨年3月から今年1月まで市立砺波総合病院整形外科に中国の黒龍江省ハルビン市から王 岩（ワン・イエン）先生が来られ研修された。日本語が十分ではなかったのが、最初は日常会話には日本語、英語を使用していた。コミュニケーションを良くする為に、昨年4月から私がラジオの中国語講座を聞くようになり、王先生とは日常会話では中国語も使用するようになった。手術、講演会、観光などはできるだけ同行して日本での滞在を心地良いものにしたかった。日本語、英語、中国語を混ぜて会話をし、お互いの考えを伝達、理解できていたと思う。

1年間という長期間のためか王先生は中国・ハルビンに早く帰りたいそうであった。もっと積極的に日本・砺波の生活を楽しむように勧めたが文化の違いもあると王先生は答えていた。

王先生が当科研修中の昨年11月20日から12月22日まで5週間、AOSpine FellowshipのFellowとしてイギリスのノッチングムのCentre for Spinal Studies & Surgery, University Hospitalに脊椎・脊髄疾患の研修に行かせて頂いた。許可を頂いた安念鉄夫砺波市長、杉本立甫市立砺波総合病院長、富田勝郎金沢大学整形外科教授、整形外科スタッフ、関係の各位に感謝している。そのとき感じたのは文化、習慣の違い、コミュニケーションの困難さであった。王先生の日本での生活の困難さを改めて実感した。

王先生は昨年10月に神戸で開催された中部日本整形外科災害外科学会でのポスター口演発表を無事に終え今年1月中国・ハルビンに帰国された。

今年8月下旬、市立砺波総合病院の訪中団の団長として中国・ハルビンを訪れた。市立砺波総合病院に研修に来られた黒龍江省医院の先生方や王先生とも再会することができた。丁度そのときまでに学会誌が発行されたため、王先生の日本語の筆頭論文をお渡しすることができた。黒龍江省立医院の李 宝春院長も喜んで頂けた。簡単な中国語を話すと中国の方は喜んで頂き雰囲気や和む感じがした。

人との出会いの不思議さをなんとなく感じているこの頃である。

# 百才

高田医院

高田 外喜雄

だい分以前に岐阜県をドライブした事がありました。郡上八幡から奥の方へ入り、小さな盆地の村で一休みしました。秋晴れの山村の風景も良かったのですが、和良村（わら）と云う地名が面白く印象に残りました。数年後の敬老週間の頃、全く偶然にその村の百才の爺様が映ったのです。何か懐かしく感じ手を休め見入った所、床の間の立派な書の掛軸の前に端然として居られ、聞くとその軸は最近自分で書かれたとの事、又その上何と85才の時に初めて先生について習い始めたとの事、大いに驚き敬服しました。

さて私は中学の頃、国語と漢文が大の苦手でした。先生はアゴちゃんでした（色白で太って居られアゴの辺りがモヤ～した感じ）。先生は口癖の様に、光陰矢の如し、君達はもうすぐ私の様に白髪の老人になるから今の内に……と云われるのです。私は、もう聞き飽きた自分は永久に老人になんかなるものかと反発し、益々嫌いになり以後は適当にお茶を濁して日が経ちました。そして気が付くと先生の予言は的中し、80才を目前にした白髪の老人になっていました。そして不思議な事に苦手の書道に挑戦して見たいとの思いが湧き上がって来て何の準備もないままに師について勉強を始めたのです。或いは例の百才翁の事が思い出されたのかも知れません。先ずは先生の道具を借りての出発です。早速自分の名の田の字の誤りを指摘されました。そんな事考えてもいなかった。又毛筆のフワフワ感が気色悪く、筆を持つと体がアレルギーを起こし腕の筋肉が硬直し、はてはケイレンを起こしそうになるのです。半年位の辛抱でやっと7割程快復して来ました。その後進歩の歩みは年のせい？で遅々として居りますが、百才になる時点では一等と馬鹿げた事を考えて居るのです。

高田 琅峰



# 私と昆虫

福光あおい病院

高橋 暢 人

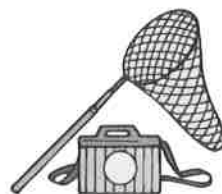
今年の夏は異常とも言える暑さで、例年通り秋はおとずれるのかと思っていましたが、気がつけばすっかり涼しくなってきました。私の住んでいる近くには、林や川があり四季を通して様々な昆虫をみかけることがあります。今の職業につく前は、昆虫の研究が出来る仕事につきたいと考えていたくらいで、今でも何かしらの昆虫を見つけると、しげしげと観察してしまいます。

例えば、夏の代表的な昆虫に蝉がありますが、子供の頃ならともかく大人になるとなかなか近くでみる機会がないものです。蝉は幼虫の時代を五年から長いもので11年も、土の中で樹の根から栄養を摂取して成長していきます。成虫になってからは長くても2週間程度の寿命しかないのですが、その間に子供を残すわけです。毎年夏になると思うのですが、年々自然が少なくなっているわりには蝉の数はそれ程減少していないように思います。

他にも、蝉はなんといってもあの大音量の鳴き声が個性的なのですが、発声のための器官と鼓膜がほとんど同じ場所についていた（と記憶していますが）ことが、今でも不思議でなりません。うるさく感じないのでしょうか。もっともバッタの類では耳が足のところについていたり等特殊な進化をしている昆虫なので、蝉についても本来の耳の役割をする器官は別にあるのかもしれませんが、それでもかなり騒音が発生して、これが人間なら自分の声に耐えられないことでしょう。

先ほども少し述べましたが、年々自然が減り季節の変化も酷暑があつたりと例年のものと異なってきています。地層年代的には、現在は氷河期になる予定だそうです、とてもそうは思えません。やはり温暖化の影響なのでしょう。

永遠に変化しないものは勿論ありませんが、幼少より親しんだ日本の自然、風景ができるだけ大切に残されていくことを祈るばかりです。



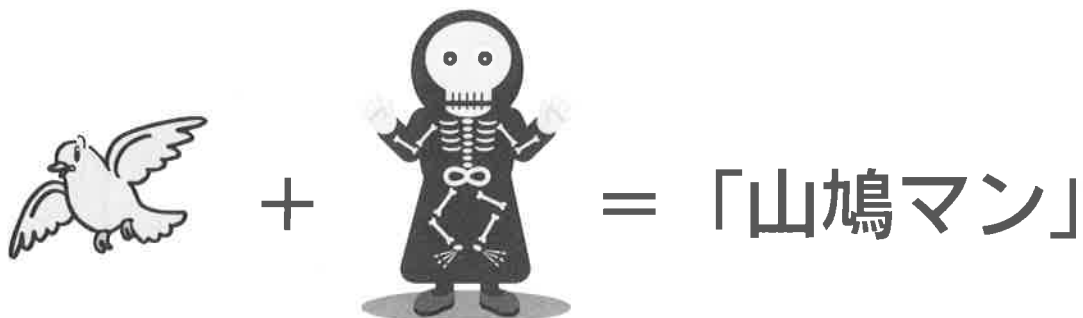
# キカン子供への決めゼリフ

福光あおい病院

高橋 三千代

先日、幼い子供二人を連れて九州に里帰りしてきた。今年2度目である。前回5月に帰省したとき玄関の暗い雰囲気とタイミング悪く鳴り出したハト時計におびえ、長女は泣いて絶叫しながら引きずられるように家の中に入った。さらに早朝に聞こえてくる山鳩の「デーデー、ポッポー」という地の底を這うような低い声…。もう恐怖のどん底、阿鼻叫喚とはこういうことを言うのか、と子供をあやしながら思った。その後、富山に帰ってきてから地元の七夕祭りに家族で出掛けた時のこと、白いガイコツが描いてある黒いマントをすっぽり被った人が突然長女に近寄ってきた。彼女はパニックになり、なだめるのに一苦労した。それ以来、彼女の中でマントのオバケと山鳩のイメージが一体化したらしく、我が家では「山鳩マン」と呼ばれるようになった。子供がお風呂の後着替えずに遊んでいる時、まずはやさしく、次に少々強めに、それでもだめなら一声「山鳩が来るよ」。効果テキメン、ピョンと立ち上がり黙々と仕事を遂行してくれる。つい乱用していたら、とうとう泣き出してしまった。そこで「山鳩マンは怖いけど、山鳩は鳥だから怖くないんだよ」と、言ってる本人も良くわからない理由で説明したところ、ひとまず落ち着いてくれた。

今回の里帰りでは、やはり山鳩の声が聞こえていたが長女は顔を引きつらせながらも「山鳩マンは怖いけど、山鳩は鳥さんだから怖くないんだよ」と言っていた。私は子供の成長にニヤニヤしながら「そうそう」と答えた。違いがわかった今でも「山鳩マンが来るよ」は効果抜群である。ちなみに私の子供時代は母親から「マンが来るよ」と言われていた。大人になってから「あのマンって何？」と当の母親に聞いても「さあ、なんじゃろうか？」と言ってとぼけている。皆様は幼いころ、親に何とおどされましたか？





## 新入会員紹介

井上皮フ科医院

井上 久美子

今年の6月に苗加で皮膚科医院を開業させていただいた井上と申します。簡単に自己紹介させていただきます。

昭和47年に金沢大学を卒業し皮膚科学教室に入りました。当時は真菌症の専門家の福代先生が教授でした。門前の小僧で、私も何が一番専門ですかと言われれば皮膚の真菌症(かび)が比較的得意ですとっております。昭和56年から砺波総合病院に就職させていただき26年余り勤務いたしました。この間砺波医師会の先生方には沢山患者様を紹介していただき、大変お世話になり、有難うございました。病院の勤務は60歳までと数年前から考えておりました。その後のことは決めておりませんでした。もうしばらく皮膚科医の仕事が続けたいという気持ちがあり開業いたしました。

開業した時期が皮膚疾患の多い夏場ということもあり、ありふれた皮膚病(虫刺され、毛虫皮膚炎、水虫、かぶれ、とびひ、にきび など)の患者様に沢山受診していただきました。抗生剤の注射や、皮膚生検などの手術的なことは現在しておりませんので総合病院の皮膚科に紹介状を書いてお願いすることも多いです。

日曜日や午後休診の時間はフリーなので、今まで全く整理のできなかった雑誌や文献の整理や廃棄を始めました。読みもしないのに長い年月の間に沢山雑誌をためこんだものだと溜息をついております。

60歳で開業の先生の一年生となりました。わからないことばかりです。諸先生方のご指導ご鞭撻をなにとぞよろしくお願い申し上げます。



杏和会婦人部

藤井浩子

杏和会婦人部での研修会報告の原稿依頼がありましたので、私が今まで参加した研修会で印象に残った事を報告させていただきます。私がこの会に参加してもう10年です。初めて自己紹介をした時は、久しぶりにドキドキと胸が高鳴ってしまいました。その時のみなさんの暖かい眼差しがとても記憶に残っています。そして、いつものことですが、美味しいお料理をいただきながら、素材や料理方法や応用料理まで話は膨らみます。私は、この会でのお料理は、普段ではなかなかいただけないものも多く、次は何が出てくるか、その次は・・・なんてワクワクしながら、とても楽しみにしています。また時には、美術館、寺院などにも足を運びます。これだけいろいろな世代の方が集まると感想も様々で、みなさん本当にさまざまな事をご存知です。いろんなお話に耳を傾けながら、いつも勉強させていただいています。

ところで、ここ数年コミュニケーションの大切さが取り上げられています。

ちょっとしたコミュニケーション不足でボタンの掛け違いが起きトラブルに発展・・・なんてこともあります。大学の科目でもコミュニケーション科を設けている所もあるようです。そこで、私は、日々ちょっとした失敗でもコミュニケーションを取るように心がけています。そして、この集まりも、みなさんで仲良くコミュニケーションをとることで、親睦がより深まり、先生方の医師会の運営も、ますます行いやすくなるかもしれません。今年、来年と杏和会婦人部の幹事を務めさせていただくにあたり、若い世代の参加が少なく寂しい思いをしています。砺波医師会婦人部は『みんなで仲良く』という理想のもとで始められたと聞いています。みなさんと過ごすひとは、本当に教えられる事も多く勉強にもなります。ということで、次回の新年会には、是非みなさん出席していただき多にコミュニケーションを楽しみましょう。

## 砺波医師会誌 第189号

### 編集後記

亡くなられた砺波医師会の先生方にはご冥福を謹んでお祈り申し上げます。  
朝、歩いて総合病院に行くようにしています。まだ半分ほけた頭で朝っぱらから運転して通学児童でも轢いたら大変なことだと思って歩いています。それに、病院職員は月額駐車料1000円を支払いなさいとの御達しもあり、そんなことならと歩き始めました。もう1年半経ちました。少しは痩せるのかと思ったけど全然です。調子のいいときは、今日の仕事のことを考え、調子が今ひとつの時は、iPodで音楽を聴きながら何も考えずに歩いています。歩いているといろんな楽しみも出てきます。つい最近では、通勤途中の金木犀の匂いが気分を和ませてくれました。そう言えば大学時代、石川門の近くでよくこの臭いをかいだなあ。また登校途中の小学生集団のすぐ後を歩き、何をしゃべっているのかを聞くのも楽しいです。男の子は大概、ゲームの攻略法を一生懸命話していますね。子供の話題には、楽しいことだけでいやな内容は一つもないですね。

もし、運動不足の先生がおられたらどうですか、健康のために少しでも歩いてみられては。

家接 健一 記

〔広報委員〕 家接 健一、藤井 正則、柳下 肇、福井 靖人

